

みんなで参加

防災訓練

6月7日

市民の生命・財産を災害から保護するために、六月七日(火)、住民参加のもとに防災関係機関が一体となって避難訓練を実施します。これは毎年六月一日から七日までの一週間を「県民総合防災週間」として実施しているものです。

南門市でも、六月七日(火)午前十時から市内各地で実施しますが、市民のみならずの積極的な参加とご協力をお願いします。

なお、想定訓練や実施場所については、実施地区のみに、文書で通知します。



■実施方法

- ▽現地訓練とする。
- ▽一時避難所を定め、訓練地住民に参加してもらう。
- ▽当日は午前十時に、無線連絡サイレン放送制御装置等を利用して合図する。
- ▽実施地区の連絡員や部落長、公民館長、婦人会長、老人クラブ会長、市議会議員等に訓練実施の協力を依頼する。

6月は
県・市民税
(1期分)
の納付月です

表彰 優良勤労青少年

働く青少年の健全な育成を目指して活動を続けている南国地区職場警察連絡協議会は、四月二十二日、五十二年度総会で優良勤労青少年の表彰を行いました。いずれも、学業や仕事に励み、家庭を助ける等、模範となっている青少年です。

サークル

写真合評と講義

去る五月十五日に公民館サークル主催で行われた撮影会の合評と写真撮影の講義を、写真家大野数英氏をむかえて行います。六月十日

委員

大篠地区の民生・児童委員

- 大篠地区にある城隍部落の世帯増加から「新部落」の要望があり、四月に「横田町誕生」となりました。このため、大篠地区の民生・児童委員さんの担当地区が次のように変更になりました。
- ▽山崎・八木・新川 豊島千代子 ☎2881
 - ▽住吉野・西野・南海学園 武市正儀 ☎2970
 - ▽能間・西窪・野田口 岡本 満 ☎3980
 - ▽関・田井・竹中 関田時於 ☎4361
 - ▽朝田町 橋田 猛 ☎2231
 - ▽稲吉東 高石文一 ☎3925
 - ▽明見 松村 治 ☎7351
 - ▽篠原 千頭利子 ☎7311
 - ▽伊達野 北村藤子 ☎4278
 - ▽城隍・横田町 長野正文 ☎2349
 - ▽稲吉西 武市水幸 ☎4020
- 【福祉事務所】

検査

計量器の検査

六月七日は計量記念日です。計量の面から日常生活を見直し、むだのない明るい快適な生活を営むよう心がけましょう。市では、次

部落についての俗説

【未解放部落の宗派は浄土真宗で、特に西本願寺の門徒ではないかという考え方】

これは宗教起源説といわれるものですが、浄土真宗が部落だけの宗教でないことはその分布を見ればよくわかります。東西の本願寺の構成をみてもよくわかりま

す。親鸞の布教した地域が浄土真宗であり、東本願寺と西本願寺の比率も昭和七年の統計では大体四対六となつていますので、これは部落を卑しめる理由にはなりません。また、江戸時代中期には浄土真宗へと転宗命令が出されて強制的に転宗させられた部落もありま

しめるようになりました。大正九年の関東大震災の後、朝鮮人が暴動を起すという流言にまどわされ、軍隊や警察以外の一般民衆が何の罪もない朝鮮の人々を大量に虐殺したことはよく知られています。また、当時の国策によって、「俺たちは世界の一等国である日本人だ。万世一系の天皇をいたたく優秀な民族であり神国である。」という誤った優越感をもたらし

同和教育シリーズ

部落解放への道標

みちしるべ

私たちの身のまわりには、現代においてもこうした誤った考え方やしきたりがたくさん残っています。特に、朝鮮や中国の人々に対する偏見や差別意識が根付いてしま

解放部落に対する差別、偏見や誤解も根強く残っており、次々に朝鮮や中国の人々に対する偏見や差別意識が根付いてしまつておきましょう。

◆朝鮮や中国の人々に対する偏見のあらわれ

明治新政府が、旧幕府支持の武士たちの不平不満を外にそらせるために征韓論をとなえた時、あたりから、国民の中に朝鮮を必要とする考え方が少くも広がりました。

殖産興業・富国強兵の国策は短年月の間に成果を収め、軍国主義思想がつかわれてきました。明治四十一年の韓国併合以来、土地と職を奪われた朝鮮の農民は日本につれてこられ、炭坑や鉄道工事などの現場で非人間で無権利な、差別的な条件のもとで働かされました。そして、工事が終わると裸のままに投げ出されるなどして、故郷の朝鮮には帰る家もない人々はスラム街を作り、くず拾いや飢餓の行商をして、きわめて悲惨な生活をしていました。

こうした朝鮮の人々の貧しい生活の姿を見て、事情を知らない日本人は、風俗習慣が違い言葉も通じない土地で職もなくさまよう彼らの立場を理解するどころか、逆にこれを劣等民族視して差別し卑

しめるようになりました。大正九年の関東大震災の後、朝鮮人が暴動を起すという流言にまどわされ、軍隊や警察以外の一般民衆が何の罪もない朝鮮の人々を大量に虐殺したことはよく知られています。また、当時の国策によって、「俺たちは世界の一等国である日本人だ。万世一系の天皇をいたたく優秀な民族であり神国である。」という誤った優越感をもたらし



ならないことである。私たちが、このような意味のない優越感や劣等感をめぐり、一人ひとりの人権、人格を大事にすることも同和教育では忘れてはならないことである。